

委 託 契 約 書 (案)

排出事業者 地方独立行政法人広島市立病院機構 (以下「発注者」という。) と、収集運搬及び処分業者 _____ (以下「受注者」という。) は、発注者の事業場 広島市立安佐市民病院 から排出される産業廃棄物 (感染性産業廃棄物) の収集・運搬及び処分に関して次のとおり契約を締結する。

第1条 (法の遵守)

発注者及び受注者は、処理業務の遂行にあたって廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するものとする。

第2条 (委託内容)

1 (受注者の事業範囲)

受注者の事業範囲は以下のとおりであり、受注者はこの事業範囲を証するものとして、許可証の写しを発注者に提出し、本契約書に添付する。なお、許可事項に変更があったときは、受注者は速やかにその旨を発注者に書面をもって通知するとともに、変更後の許可証の写しを発注者に提出し、本契約書に添付する。

(1) 収集運搬に関する事業範囲

[特管]

許可都道府県・政令市： _____	許可都道府県・政令市： _____
許可の有効期限： _____	許可の有効期限： _____
事業範囲： _____	事業範囲： _____
許可の条件： _____	許可の条件： _____
許可番号： _____	許可番号： _____

(2) 処分に関する事業範囲

[特管]

許可都道府県・政令市： _____
許可の有効期限： _____
事業範囲： _____
産業廃棄物の種類： _____
許可の条件： _____
許可番号： _____

2 (委託する産業廃棄物の種類、数量及び契約金額)

発注者が、受注者に収集・運搬及び処分を委託する産業廃棄物の種類、年間予定数量及び委託単価は、次のとおりとする。

種類： 感染性産業廃棄物
予定数量： 1, 340, 268 リットル
(年間) ※予定数量は、実績に基づいた推計であり、発注を担保するものではない。
委託単価： 1 リットル当たり _____ 円
(うち消費税及び地方消費税の額 _____ 円)

※支払方法等は、広島市立病院機構委託契約約款 (複数年契約用) のとおり。

※契約金額は、業務の実施に必要な経費をすべて含むものとする。

3 (処分の場所、方法及び処理能力)

受注者は、発注者から委託された第2項の産業廃棄物を次のとおり処分する。

事業場の名称： _____

所在地： _____

処分の方法： _____

施設の処理能力： _____

4 (最終処分の場所、方法及び処理能力)

発注者から、受注者に委託された産業廃棄物の最終処分（予定）を次のとおりとする。

最終処分先の番号	事業場の名称	所在地	処分方法	施設の処理能力

5 (収集・運搬過程における積替保管)

受注者は、発注者から委託された産業廃棄物を積替え又は保管することなく、速やかに第3項に掲げる処分場に搬入しなければならない。

第3条 (適正処理に必要な情報の提供)

1 発注者は、産業廃棄物の適正な処理のために、必要な情報を受注者に対して提供するものとする。

2 発注者は、委託契約期間中、適正な処理及び事故防止並びに処理費用等の観点から、委託する産業廃棄物の性状等の変更があった場合は、受注者に対しその変更の内容及び程度の情報を通知する。

なお、受注者の業務及び処理方法に支障を生ずるおそれがある場合の、性状等の変動幅は、製造工程又は産業廃棄物の発生工程の変更による性状の変更や腐敗等の変化、混入物の発生等の場合であり、発注者は受注者と通知する変動幅の範囲について、あらかじめ協議のうえ定めることとする。

3 発注者は、委託する産業廃棄物のマニフェストの記載事項は正確にもれなく記載することとし、虚偽又は記載漏れがある場合は、受注者は委託物の引き取りを一時停止しマニフェストの記載修正を発注者に求め、修正内容を確認の上、委託物を引き取ることとする。

第4条 (発注者受注者の責任範囲)

1 受注者は、発注者から委託された産業廃棄物を、その積み込み作業の開始から処分の完了まで、法令に基づき適正に処理しなければならない。

2 受注者が、前項の業務の過程において法令に違反した業務を行い、又は過失によって発注者又は第三者に損害を及ぼしたときは、受注者においてその損害を賠償し、発注者に負担させない。

3 受注者が第1項の業務の過程において、第三者に損害を及ぼした場合に、発注者の指図又は発注者の委託の仕方（発注者の委託した産業廃棄物の種類もしくは性状等による原因を含む）に原因があるときは、発注者において賠償し、受注者に負担させない。

4 第1項の業務の過程において受注者に損害が発生した場合に、発注者の指図又は発注者の委託の仕方（発注者の委託した産業廃棄物の種類もしくは性状等による原因を含む）に原因があるときは、発注者が受注者にその損害を賠償する。

第5条（再委託の禁止）

受注者は、発注者から委託された産業廃棄物の収集・運搬及び処分業務を他人に委託してはならない。ただし、発注者の書面による承諾を得て法令の定める再委託の基準にしたがう場合は、この限りではない。

第6条（義務の譲渡等）

受注者は、本契約上の義務を第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。

第7条（委託業務終了報告）

受注者は、発注者から委託された産業廃棄物の業務が終了した後、仕様書等に定めるところにより、業務終了報告書を作成し発注者に提出する。なお、業務終了報告書にはマニフェストB2、D票を添付することとする。

第8条（業務の一時停止）

- 1 受注者は、発注者から委託された産業廃棄物の適正処理が困難となる事由が生じたときには、業務を一時停止し、ただちに発注者に当該事由の内容及び、発注者における影響が最小限となる措置を講ずる旨を書面により通知する。発注者はその間は、新たな処理の委託は行わないこととする。
- 2 発注者は受注者から前項の通知を受けたときは、速やかに現状を把握した上、適切な措置を講ずるものとする。

第9条（内容の変更）

発注者又は受注者は、必要がある場合は委託業務の内容を変更することができる。この場合において、契約期間を変更するとき、又は予定数量に大幅な変動が生ずるときは、発注者と受注者で協議の上、書面によりこれを定めるものとする。第3条第2項、第8条の場合も同様とする。

第10条（機密保持）

発注者及び受注者は、この契約に関連して、業務上知り得た相手方の機密を第三者に漏らしてはならない。当該機密を公表する必要がある場合には、相手方の書面による許諾を得なければならない。

第11条（契約の解除）

- 1 発注者及び受注者は、相手方がこの契約の各条項のいずれかに違反したときは、書面による催告の上、相互にこの契約を解除することができる。
- 2 発注者及び受注者は、相手方が反社会的勢力（暴力団等）である場合又は密接な関係がある場合には、相互に催告することなく、この契約を解除することができる。
- 3 発注者又は受注者から契約を解除した場合においては、この契約に基づいて発注者から引き渡しを受けた産業廃棄物の処理が未だに完了していないものがあるときは、受注者又は発注者は、

次の措置を講じなければならない。

(1) 受注者の義務違反により発注者が解除した場合

ア 受注者は、解除された後も、その産業廃棄物に対する本契約に基づく受注者の業務を遂行する責任は免れないことを承知し、その残っている産業廃棄物についての収集・運搬及び処分業務を自ら実行するか、もしくは発注者の承諾を得た上、許可を有する別の業者に自己の費用をもって行わせなければならない。

イ 受注者が他の業者に委託する場合に、その業者に対する報酬を支払う資金がないときは、受注者はその旨を発注者に通知し、資金のないことを明確にしなければならない。

ウ 上記イの場合、発注者は、当該業者に対し、差し当たり、発注者の費用負担をもって、受注者のもとにある未処理の産業廃棄物の収集・運搬及び処分を行わしめるものとし、その負担した費用等を、受注者に対して償還を請求することができる。

(2) 発注者の義務違反により受注者が解除した場合

受注者は発注者に対し、発注者の義務違反による損害の賠償を請求するとともに、受注者のもとにある未処理の産業廃棄物を、発注者の費用をもって当該産業廃棄物を引き取ることを要求し、もしくは受注者の費用負担をもって発注者方に運搬した上、発注者に対し当該運搬の費用を請求することができる。

第12条（その他の契約事項）

その他の契約事項については、広島市立病院機構委託契約約款（複数年契約用）（ただし、第6条、第11条第2項及び第〇〇条は適用除外とする。）及び仕様書のとおりとする。

第13条（協議）

この契約に定めのない事項又はこの契約の各条項に関する疑義が生じたときは、関係法令にしたがい、その都度発注者受注者が誠意をもって協議しこれを取り決めるものとする。

第14条（契約期間）

契約期間は、契約締結の日から令和3年10月31日までとする。契約締結の日から令和2年3月31日までの間を業務開始に向けた準備期間とし、その際の費用については受託者の負担とする。

第15条（履行期間）

履行期間は、令和2年4月1日から令和3年10月31日までとする。

第16条（契約保証金）

この契約に基づく契約保証金は、〇〇とする。

第17条（管轄裁判所）

この契約に基づく発注者・受注者間の紛争に関する管轄裁判所は、広島地方裁判所とする。

この契約の成立を証するために本書2通を作成し、発注者・受注者は各々記名押印の上、各1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者 広島市中区中町8番18号
地方独立行政法人広島市立病院機構
理事長 影本 正之

受注者